SONY®

4-246-076-**03**(2)

コンパクトディスク レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable

COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

RCD-W500C

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

音量を調節するときは

不用意に音量を上げてしまうと、音が聞こえないにもかかわらず、ノイズが発生したりアンプの保護回路が働いたり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま数時間放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

本体を持ち運ぶときは

- 入っているディスクは、必ず取り出しておいてください。
- 必ずディスクトレイを閉めた状態にしておいてください。

ディスクを入れたときは

本体から発信音や機械音が聞こえることがあります。
これは、各ディスクに合わせて本体内部のサーボが自動調節を行ったときに出す音です。
また、反ったディスクを入れたときに、再生中に自動調節機能が働き、本体から機械音が聞こえることがあります。

録音についてのご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336）
- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- コンパクトディスクレコーダーとCD-R/CD-RWなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

- 「準備」（4〜6ページ）をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。
- リモコンでは、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	この操作はリモコンにあるボタンでのみ可能です。
	知っていると便利な情報です。

目次

準備

ディスクを再生する

録音/編集する

その他の情報

準備

この章では、お手持ちのオーディオ機器と本機の接続のしかたを説明します。
接続する前に必ずお読みください。

接続を始める前に

付属品を確認する

本機とともに、次の付属品が同梱されています。

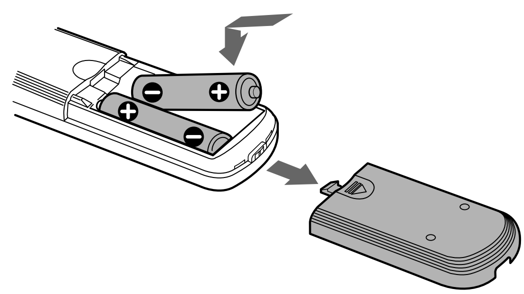
- オーディオ接続コード
  ピンプラグ × 2（赤／白）←→ピンプラグ × 2（赤／白）（2）
- リモコン（1）
- 単3形乾電池（2）
- 取扱説明書
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 安全のために（1）
- 保証書（1）

以上の付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

付属の乾電池2個の⊕と⊖を、電池入れ内部の表示と合わせて入れる。

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。



乾電池の寿命は約6か月です
残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換します。

リモコンで操作するときは
リモコンを本体のリモコン受光部 ▣ に向けて操作します。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  — ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  — 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  — 乾電池は充電しないでください。
  — 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  — 液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンで操作するときは、本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。
  リモコンからの操作を受け付けないことがあります。

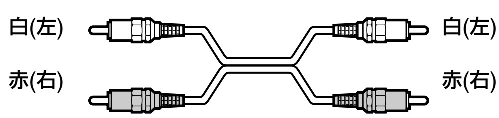
接続する

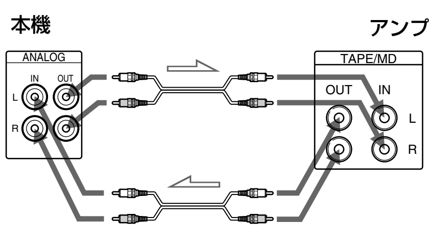
本機と他の機器を接続します。接続するときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。
接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。

本機をアンプと接続する

付属のオーディオ接続コードを使って、本機のANALOG IN/OUT（L/R）端子をアンプと接続します。
白（左）端子には白プラグを、赤（右）端子には赤プラグをつなぎます。ハムやノイズを防ぐために、しっかりと接続して下さい。

オーディオ接続コード（赤/白）



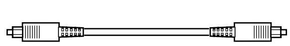


：信号の流れ

デジタルオプチカル端子に接続する

本機とデジタル機器（デジタルアンプ、CDプレーヤー、MDデッキ、DATデッキなど）をデジタル接続するときは、別売の光デジタル接続コードを使って、本機のDIGITAL OPTICAL IN/OUT端子に接続します。
光デジタル接続コードのプラグをカチッと音がするまでまっすぐに差し込みます。

光デジタル接続コード（別売）

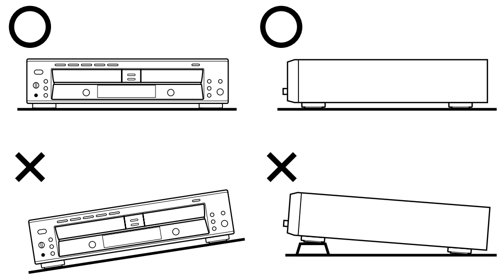


電源コードをつなぐ

電源コードを壁のコンセントにつなぎます。

ご注意

- 本機は平らで水平な場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、不具合および故障の原因となります。



- 本機の状態が次のようなときは、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  - ディスクトレイや本体を叩いた
  - 水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
  - スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている

本機で使用できるディスクについて

本機では以下のディスクがご使用になれます。

オーディオCD

このマークのディスクは、デッキA（CDプレーヤー部）またはデッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部）で再生することができます。

オーディオCD-R

このマークのディスクは、デッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部）で**一度だけ**録音することができます。
録音後にファイナライズ（27ページ）をすると、デッキA（CDプレーヤー部）、デッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部*）、または一般のCDプレーヤーで再生することができます。ファイナライズされていないディスクは、デッキBのみで再生することができます。

* 一部のCDプレーヤーでは再生できない場合があります。

ご注意

CD-Rをご購入の際は必ずオーディオ用のCD-R（上記マークのついたCD-R）をお求めください。コンピューター用のCD-Rは本機ではご使用できません。

オーディオCD-RW

このマークのディスクは、デッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部）で何度でも録音することができます。
録音後にファイナライズ（27ページ）をすると、デッキA（CDプレーヤー部）、デッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部）、またはCD-RW対応のCDプレーヤーで再生することができます。ファイナライズされていないディスクは、デッキBのみで再生することができます。

ご注意

CD-RWをご購入の際は必ずオーディオ用のCD-RW（上記マークのついたCD-RW）をお求めください。コンピューター用のCD-RWは本機ではご使用できません。

このマークは、オーディオCD-RとオーディオCD-RWの両方の意味を持っています。（オーディオCD-RとオーディオCD-RWのどちらもご使用できます。）

ご注意

本機では、**MP3ファイルはデッキAでのみ再生できます。**詳しくは「MP3ファイルが記録されたディスクを再生する」（9ページ）をご覧ください。

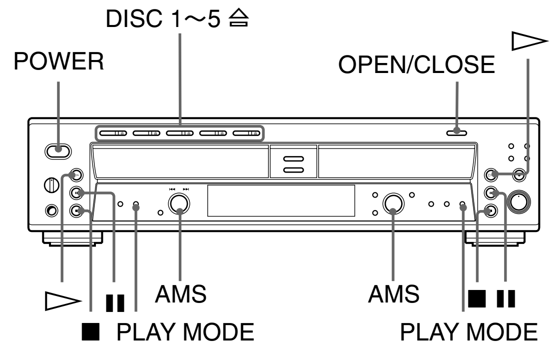
ディスクを再生する

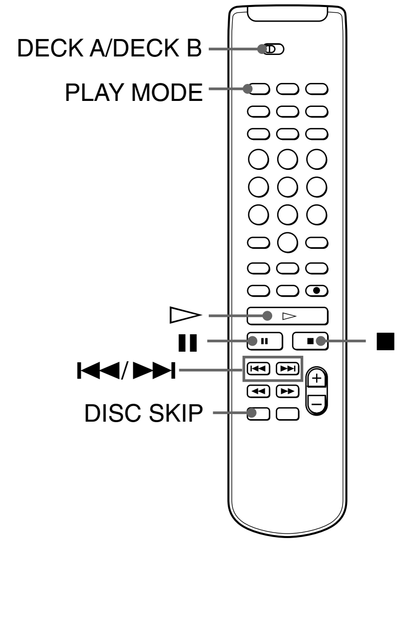
この章では、さまざまな再生のしかたを説明しています。

CDを再生する

本機には2つの再生部（CDプレーヤー部、CD-R/CD-RWレコーダー部）があります。本取扱説明書では、CDプレーヤー部をデッキA、CD-R/CD-RWレコーダー部をデッキBとして説明します。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Aにするとデッキ A、DECK Bにするとデッキ Bを操作することができます。



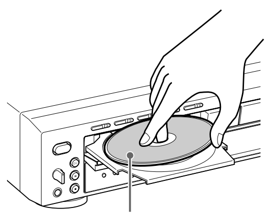


1 アンプの電源を入れる。アンプのボリュームを最小にする。

2 アンプの入力切り換えで、本機を接続している入力を選ぶ。

3 本機のPOWERスイッチを押して電源を入れる。

4 デッキAのDISC1～5 ≙ボタン、またはデッキBのOPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。もう一度 DISC1～5 ≙またはOPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉める。



文字の書いてある面を上に

5 デッキAでは、PLAY MODEボタンを繰り返し押して、再生のしかたを選ぶ。

ALL DISCS	入っている全ディスクをディスク番号順に再生する
1 DISCまたはALBUM	選んだディスクだけ再生する

6 ▷ボタンを押す。
再生が始まります。アンプで音量を調節します。

再生中の基本操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
再生を一時停止する	❚❚ボタンを押す。
一時停止した再生を再開する	❚❚ボタンまたは▷ボタンを押す。
ディスクを選ぶ（デッキA）	DISC1～5ボタンを押す。
次のディスクへ進む（デッキA）	リモコンのDISC SKIPボタンを押す。
1曲先へ進む	表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMS*つまみを右に回す。（リモコンの▶▶❙ボタンを押す。）
再生中の曲の頭または1曲前に戻る	表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMS*つまみを左に回す。（リモコンの❙◀◀ボタンを押す。）
ディスクを取り出す	DISC1～5 ≙ボタン（デッキA）、またはOPEN/CLOSEボタン（デッキB）を押す。

＊ AMS：Automatic Music Sensor

途中の曲から再生を始めることができます
手順6で、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを回して再生したい曲番を選んでから（リモコンでは❙◀◀/▶▶❙ボタンまたは数字ボタンを押す）、▷ボタンを押します。

再生中に他のデッキからディスクを取り出すことができます
デッキA（またはデッキB）再生中に、再生していないほうのデッキのOPEN/CLOSE（または≙）ボタンを押すとディスクを取り出すことができます。

ヘッドホンをつなぐことができます
ヘッドホンを本体前面のPHONES端子につなぎます。PHONE LEVELつまみで音量を調節します。

デッキAを再生中に他のディスクトレイのディスクを入れ替えることができます（Ex-Change機能）
デッキA再生中に、再生していない ディスクトレイのDISC 1～5≙ボタンを押すとディスクを取り出すことができます。

ディスクが入っているときはDISC 1～5ボタンがオレンジ色に点灯し、ディスクが選ばれていると緑色になります。

ご注意
- デッキAとデッキBのディスクを同時に再生することはできません。どちらかのデッキを再生中にもう一方のデッキを再生すると、先に再生していたデッキは停止します。
- ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWは、デッキBのみで再生できます。ファイナライズについての詳細は「CD-RまたはCD-RWをファイナライズする」（27ページ）をご覧ください。
- ディスクを取り出したあとは必ずディスクトレイを閉めてください。開けたままにしておくと、ゴミやほこりが本機内部に入り、故障の原因となります。
- 本機の電源を入れたときにノイズが入ることがありますが、故障ではありません。
- 本機の電源を切ると、再生モードの設定は解除されます。

MP3ファイルが記録されたディスクを再生する

MP3ファイルの再生について

MP3ファイルについて

MP3（MPEG 1 Audio Layer-3）とは、音声圧縮技術の規格名です。MP3の技術を使うと、音声ファイルを元のサイズの約10分の1に圧縮できます。人間が聞き取れない音をカットして圧縮するため、再生音は圧縮前と変わらないように聞こえます。
エンコード（符号化）の方式によっては、再生できないMP3ファイルがあります。
エンコード方式（ビットレートの設定など）は、作成されたMP3ファイルの音質に影響します。MP3ファイルの標準ビットレートは、128 kbpsです。

ID3タグについて

ID3タグとは、MP3ファイルに付加されるテキスト情報（トラック名／アルバム名／アーティスト名など）のことです。

ディスクについてのご注意

本機ではCD-ROMやCD-R、CD-RWに記録されたMP3ファイルを再生できます。ただし、ディスクはISO 9660*1 レベル1または2、Joliet、Romeoに準拠した拡張フォーマットであることが必要です。また、マルチセッション*2で記録されているディスクも再生できます。

*1 ISO 9660フォーマット
CD-ROM作成時のファイルとフォルダ構造に関する最も一般的な国際標準規格です。ISO 9660フォーマットにはいくつかのレベルがあります。レベル1では、ファイル名は8.3形式（ファイル名の最大文字数が8文字、ファイル拡張子の最大文字数が3文字“.MP3”で、すべて大文字）です。フォルダ名の最大文字数も8文字です。フォルダ階層は8階層までです。レベル2では、ファイル名は最大31文字まで記録できます。
Joliet、Romeoについては、記録用ソフトウェアの記載などをご覧ください。

*2 マルチセッション
マルチセッションには以下のようなディスクがあります。
CD-EXTRA: セッション1の各トラックにCD-DA（音楽）データを、セッション2の各トラックにコンピュータのデータを記録するフォーマットです。
Mixed CD: 1セッションの中で、最初のトラックにコンピュータのデータを、2番目以降のトラックにCD-DA（音楽）データを記録するフォーマットです。

ご注意

- ISO 9660レベル1以外のフォーマットでは、フォルダ名が正しく表示されない場合があります。
- ファイル名には、必ず拡張子“.MP3”を付けてください。
- MP3以外のファイルに“.MP3”を付けると、不規則な雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 次のようなディスクは、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
  — ツリー構造が複雑なディスク
  — マルチセッションで記録されたディスク

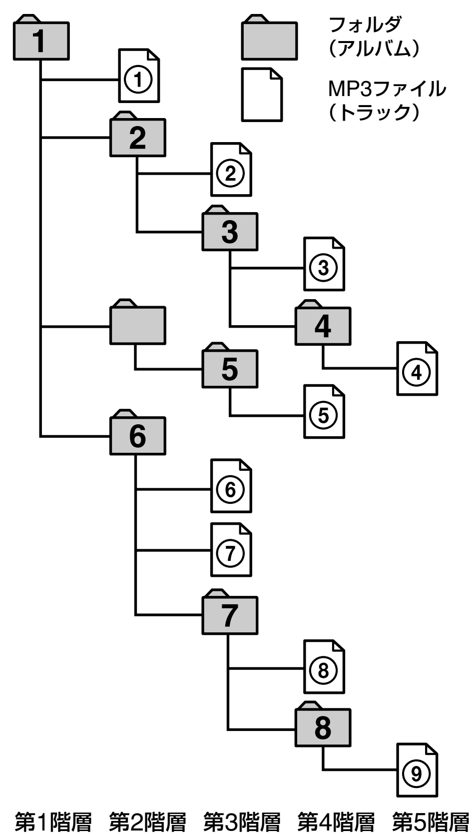
マルチセッションで記録されたディスクを再生するときのご注意

CD-DA（音楽）やMP3ファイルがマルチセッションで記録されているディスクを再生する場合には、次のような制限があります。

— ディスクがCD-DAセッションから始まっている場合は、CD-DA（音楽）ディスクと認識され、MP3セッションが認識されるまで再生が続きます。
— ディスクがMP3セッションから始まっている場合は、MP3ディスクと認識され、CD-DAセッションが認識されるまで再生が続きます。
— MP3ディスクの再生順序および範囲は、ディスクを分析した結果、ファイルのツリー構造によって決ります。
— Mixed CDフォーマットで記録されたディスクは、CD-DA（音楽）ディスクとして認識されます。

MP3ファイルの再生順について

MP3ファイルとMP3ファイルを含むフォルダ（アルバム）が記録されたディスクでは、次の順序でMP3ファイルが再生されます。



ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダは飛ばして再生されます。
- 階層を深くするほど、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 1枚のディスクに記録できるファイルとフォルダの数は合わせて最大300です。フォルダのみでは（ルートフォルダや空フォルダを含め）最大150です。
- 最大数を超えて記録されたフォルダやMP3ファイルは認識されません。たとえば、151フォルダが記録されたディスクでも、本機は150フォルダのみを読み取ります。
- 本機が再生できる階層は8階層までです。

ちょっと一言

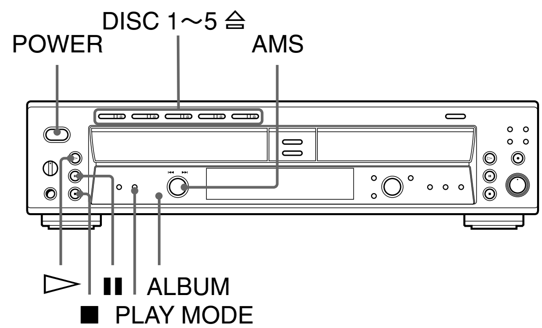
ディスクに記録する前に、MP3ファイル名またはフォルダ名の冒頭に番号を付けておくと（"01"、"02" など)、番号順に再生することができます。(番号の付き方は、記録用ソフトウェアによって異なります。)

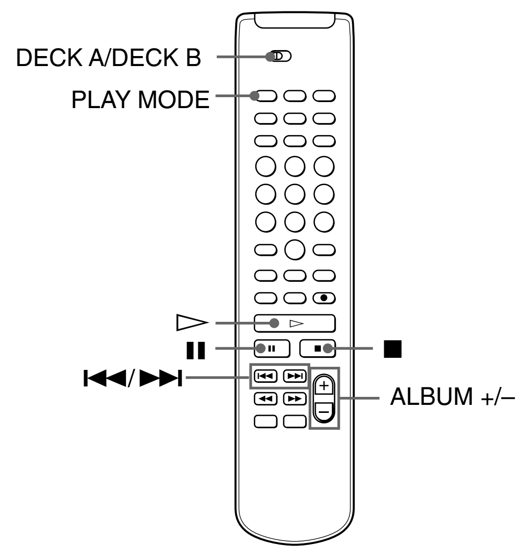
MP3ファイル再生時のご注意

エンコーダまたは記録用ソフトウェアの種類によっては、MP3ファイル記録時にデバイス情報やメディア情報を記録するものがあり、それらが原因で、再生できなかったり、音飛びや雑音が生じたりすることがあります。

MP3ファイルが記録されたディスクを再生する（デッキAのみ）

リモコンで操作するときはDECK A/DECK BスイッチをDECK Aにします。



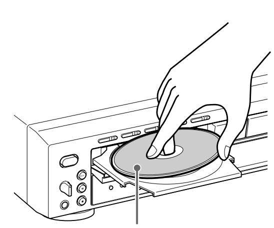


1 アンプの電源を入れる。アンプのボリュームを最小にする。

2 アンプの入力切り換えで、本機を接続している入力を選ぶ。

3 本機のPOWERスイッチを押して電源を入れる。

4 デッキAのDISC1〜5 ⏏ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。もう一度 DISC1〜5 ⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。



5 デッキAのPLAY MODEボタンを繰り返し押して、再生のしかたを選ぶ。

ALL DISCS	入っている全ディスクをディスク番号順に再生する
1 DISC	選んだディスクだけ再生する
ALBUM*	選んだアルバム中の全MP3ファイルを再生する

* MP3ファイルのアルバムが入っていないディスクを再生するときに「ALBUM」を選ぶと、「1 DISC」を選んだときと同じように再生されます。

6 アルバムを選ぶときは、ALBUMボタンをくり返し押してALBUM SELECT表示を点灯させてから、選択したいアルバムが表示されるまでAMSつまみを回す（またはリモコンのALBUM +/–ボタンを押す）。

7 ▷ボタンを押す。
再生が始まります。アンプで音量を調節します。

再生中の基本操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
再生を一時停止する	❚❚ボタンを押す。
一時停止した再生を再開する	❚❚ボタンまたは▷ボタンを押す。
ディスクを選ぶ（デッキA）	DISC1〜5ボタンを押す。
次のディスクへ進む（デッキA）	リモコンのDISC SKIPボタンを押す。
1曲先へ進む	表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMS*つまみを右に回す。（リモコンの▶▶❙ボタンを押す。）
再生中の曲の頭または1曲前に戻る	表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMS*つまみを左に回す。（リモコンの❙◀◀ボタンを押す。）
次のアルバムへ進む	表示窓のALBUM SELECT表示が点灯しているときにAMS*つまみを右に回す。（リモコンのALBUM +ボタンを押す。）
前のアルバムに戻る	表示窓のALBUM SELECT表示が点灯しているときにAMS*つまみを左に回す。（リモコンのALBUM –ボタンを押す。）
ディスクを取り出す	DISC1〜5 ⏏ボタンを押す。

＊ AMS：Automatic Music Sensor

AMSつまみの機能はALBUM SELECT表示によって変わります

ALBUM SELECT表示が消灯しているときは、AMSつまみで曲を選べます。ALBUM SELECT表示が点灯しているときは、AMSつまみでアルバムを選べます。ALBUMボタンを押すたびにALBUM SELECT表示がオン／オフします。

途中の曲から再生を始めることができます

手順7で、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを回して再生したい曲番を選んでから（リモコンでは❙◀◀/▶▶❙ボタンまたは数字ボタンを押す）、▷ボタンを押します。

再生中に他のデッキからディスクを取り出すことができます

デッキA（またはデッキB）再生中に、再生していないほうのデッキのOPEN/CLOSE（または⏏）ボタンを押すとディスクを取り出すことができます。

デッキAを再生中に他のディスクトレイのディスクを入れ替えることができます（Ex-Change機能）

デッキA再生中に、再生していない ディスクトレイのDISC 1〜5⏏ボタンを押すとディスクを取り出すことができます。

ディスクが入っているときはDISC 1-5ボタンがオレンジ色に点灯し、ディスクが選ばれていると緑色になります。

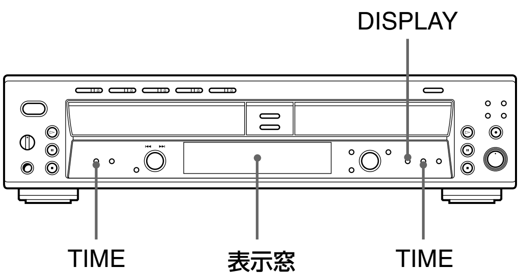
ご注意

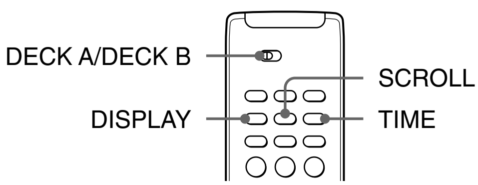
- ディスクを取り出したあとは必ずディスクトレイを閉めてください。開けたままにしておくと、ゴミやほこりが本機内部に入り、故障の原因となります。
- 本機の電源を入れたときにノイズが入ることがありますが、故障ではありません。
- MP3ファイルによっては再生できないことがあります。

表示窓の見かた

表示窓には、ディスクや再生中の曲に関するさまざまな情報が表示されます。本機の状態によって、表示される情報は変わります。
ここでは、ディスクにテキスト情報が入っている場合を例として説明しています。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Aにするとデッキ A、DECK Bにするとデッキ Bを操作することができます。



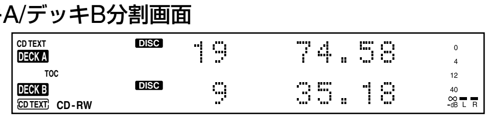


画面表示を切り換える

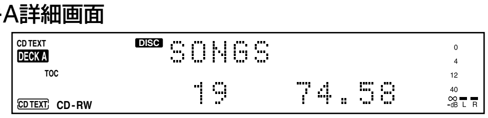
停止または再生中に、DISPLAYボタンを押す。
押すたびに、画面は次のように変わります。

デッキA/デッキB分割画面 ←
↓
デッキA詳細画面
↓
デッキB詳細画面 →（デッキA/デッキB分割画面へ戻る）

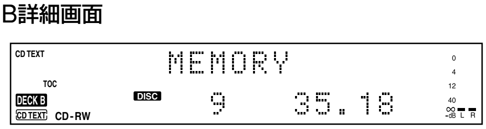
デッキA/デッキB分割画面



デッキA詳細画面



デッキB詳細画面



ディスク名、アルバム名、曲名の表示は
詳細画面の場合、停止中にはディスク名およびアルバム名が、再生中には再生中の曲名が表示されます。ディスク名や曲名を付けるには、29ページの「曲名やディスク名を付ける」をご覧ください。

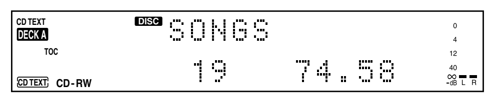
表示しきれないディスク名や曲名をスクロールさせることができます
リモコンのSCROLLボタンを押します。
スクロール中にSCROLLボタンを押すと、スクロールを止めます。
もう1回押すと、再びスクロールします。

CDテキスト対応のディスクを入れると
表示窓に「CD TEXT」が点灯します。

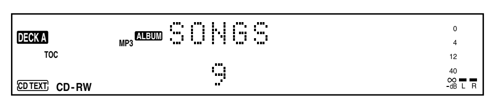
ご注意
MP3ファイルの場合、文字によっては表示されないことがあります。そのとき、表示窓にはスペースかシステム独自の文字が表示されます。

停止中の表示

デッキA
CD/CD-R/CD-RWを入れたとき
ディスクの全曲数や全再生時間



MP3ファイルを含むディスクを入れたとき
アルバム内の全MP3ファイル数

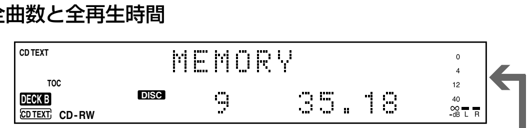


MP3ファイルのTOC情報読み取り直後は、ディスク名と全アルバム数が表示されます。

ご注意
- MP3ファイルの全再生時間は表示されません。
- MP3ファイルのID3タグは表示されません。
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダは合わせて最大300個まで、フォルダは150個までです。（ルートフォルダ、ファイルの入っていないフォルダも含みます。）最大数を超えたファイルおよびフォルダは認識されません。

デッキB
ディスクの全曲数や全再生時間が表示されます。
ファイナライズ（27ページ）されていないCD-RまたはCD-RWが入っている場合は、TIMEボタンを押すと録音可能な残り時間が表示されます。

全曲数と全再生時間



↓

録音可能な残り時間（ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWディスクのみ表示）

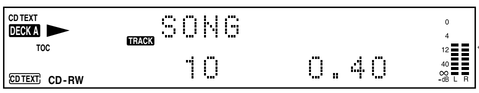


再生中の表示

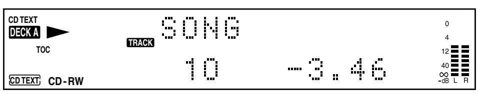
TIMEボタンを押す。
押すたびに、再生中の曲番と経過時間、残り時間、ディスク全体の残り時間が表示されます。

デッキA

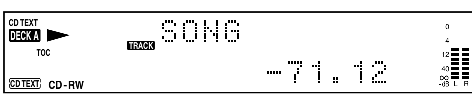
再生中の曲番と経過時間



再生中の曲番と残り時間



ディスク全体の残り時間（普通の再生時のみ表示）



MP3ファイルのトラック名として表示される情報は
ID3 ver.1 tag、ID3 ver.2 tag、MP3ファイル名の順に選ばれます。ただし、ディスクによってはこの順に選ばれないときがあります。本機がID3 tag ver.2部分を読み飛ばしているあいだは「0:00」と表示されます。読み飛ばされる時間はID3 tag ver.2の大きさによって異なります。

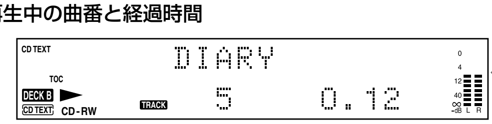
MP3ファイルのID3タグが表示されている時には
「ID3」が点灯します。ID3タグには曲名、アルバム名、アーティスト名が含まれます。

ご注意

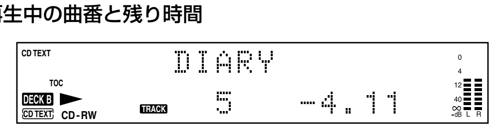
- MP3ファイルの残り時間は表示されません。
- MP3ファイル再生時にはレベルメーターは表示されません。

デッキB

再生中の曲番と経過時間



再生中の曲番と残り時間



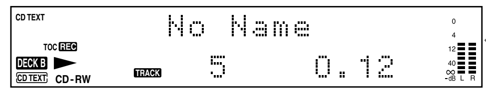
ディスク全体の残り時間（普通の再生時のみ表示）



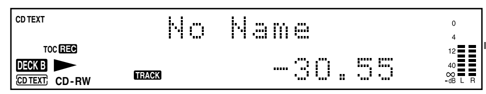
録音中の表示

TIMEボタンを押す。
押すたびに、デッキBに録音中の曲番と経過時間、ディスク全体の残り時間が表示されます。

録音中の曲番と経過時間

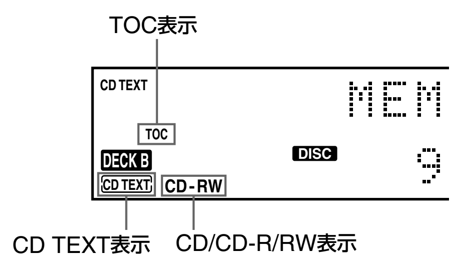


ディスク全体の残り時間



デッキBのディスク情報の表示

デッキBに入っているディスクの種類や、ファイナライズについての情報が表示されます。



CD/CD-R/RW表示

CDおよびファイナライズされたCD-Rを入れると、「CD」が点灯します。ファイナライズされていないCD-Rを入れると、「CD-R」が点灯します。CD-RWを入れると、「CD-RW」が点灯します。

TOC表示

ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れると、「TOC」が点灯します。
ファイナライズについての詳細は「CD-RまたはCD-RWをファイナライズする」（27ページ）をご覧ください。

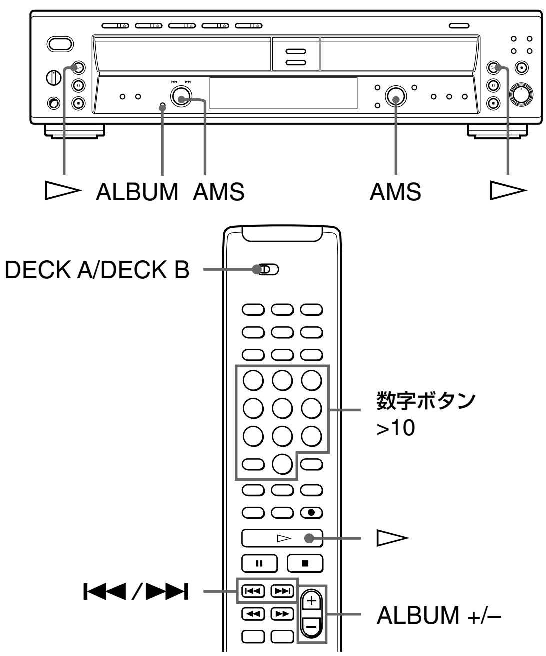
CD TEXT表示

CDテキスト対応のディスクを入れると、点灯します。
デッキBのCD TEXT表示に赤い枠がついているときは、CDテキストの情報がディスクに記録されていません。このときはファイナライズして記録してください。
ファイナライズをしない状態でディスクを取り出したり、本機の電源を切ったりすると、入力したテキスト情報が消えてしまいます。
ファイナライズ前にトレイを開けようとすると、「TEXT Edited」と表示されます。表示中にOPEN/CLOSEボタンを押すとディスクトレイが開きます。

再生したい曲を探す（AMS）

再生中または停止中に、次に再生したい曲を選んで頭出しします。AMSとは、Automatic Music Sensorの略です。
リモコンでは、⏮と⏭、および数字ボタンで頭出しします。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチを DECK AにするとデッキA、DECK BにするとデッキBを操作することができます。



探しかた	操作のしかた
次の曲を頭出しする	再生中、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを右に回す。（リモコンでは、⏭ボタンを押す。）
再生中の曲または前の曲を頭出しする	再生中、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを左に回す。（リモコンでは、⏮ボタンを押す。）
次のアルバムの頭出しをする	表示窓のALBUM SELECT表示が点灯しているときにAMSつまみを右に回す（あるいはリモコンのALBUM +を押す）
前のアルバムの頭出しをする	表示窓のALBUM SELECT表示が点灯しているときにAMSつまみを左に回す（あるいはリモコンのALBUM －を押す）
曲番や曲名で選ぶ	1 停止中、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを回して聞きたい曲番や曲名を選ぶ。（リモコンでは、聞きたい曲まで、⏮/⏭ボタンを押す。） 2 ▷ボタンを押す。

AMSつまみの機能はALBUM SELECT表示によって変わります

ALBUM SELECT表示が消灯しているときは、AMSつまみで曲を選べます。ALBUM SELECT表示が点灯しているときは、AMSつまみでアルバムを選べます。ALBUMボタンを押すたびにALBUM SELECT表示がオン／オフします。

曲の頭で一時停止をすることができます

一時停止中、表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを回して曲番を選ぶと、その曲の頭で一時停止することができます。（リモコンでは⏮/⏭ボタンを押します。）

ダイレクト選曲で探す

リモコンの数字ボタンを押して、直接曲番を選ぶ。

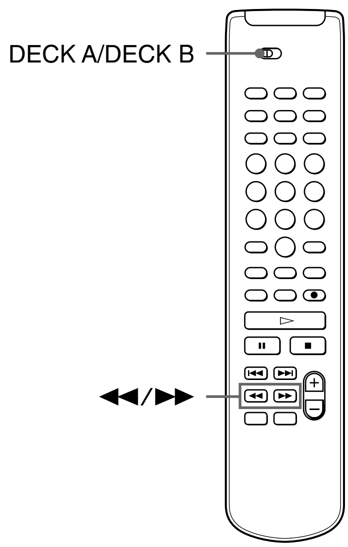
選ばれた曲が自動的に再生されます。
11曲目以降の曲を選ぶときは、>10ボタンを押してから数字ボタンを押します。

例：　15曲目を選ぶとき　　>10ボタン → 1ボタン → 5ボタン

再生したい部分を探す
（サーチ）

再生中または一時停止中に、曲の中の聞きたい部分を選ぶことができます。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Aにするとデッキ A、DECK Bにするとデッキ Bを 操作することができます。



探しかた	操作のしかた
音を聞きながら探す	再生中、リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押したままにし、聞きたい部分に近づいたら、ボタンをはなす。
表示窓を見ながら探す	一時停止中、リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押したままにし、聞きたい部分に近づいたら、ボタンをはなす。このとき、音は聞こえません

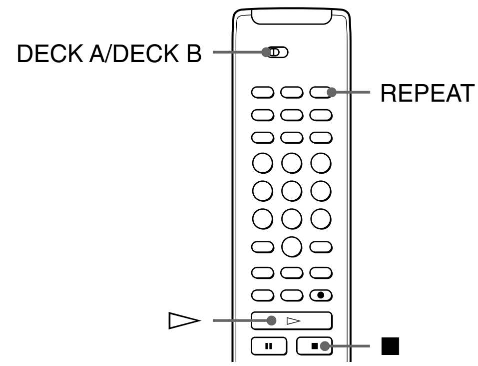
「-Over-」と表示されたときは
最後の曲の終わりまで進んでしまったので、AMSつまみを左へ回すか、リモコンの|◀◀ボタン、または◀◀ボタンを押します。

ご注意
極端に短い曲が連続している部分は、正常にサーチできない場合があります。

繰り返し再生する
（リピート再生）

ディスクの全曲または1曲を繰り返し再生します。
シャッフル再生（16ページ）やプログラム再生（17ページ）を選んだ状態でも、繰り返し再生できます。

DECK A/DECK BスイッチをDECK Aにするとデッキ A、DECK Bにするとデッキ Bを操作することができます。



全曲を繰り返す（全曲リピート）

REPEATボタンを繰り返し押して「REP」を点灯させてから、▷ボタンを押す。
全曲リピートが始まります。
PLAY MODEボタンで選ばれている再生のしかたによって、繰り返しかたが変わります。

選ばれている再生	繰り返しかた
ふつうの再生（ALL DISCS）（8、11ページ）	全ディスクの全曲を順番に再生する
ふつうの再生（1 DISC）（8、11ページ）	選んだディスクの全曲を順番に再生する
ALBUM（11ページ）	選んだアルバムの全MP3ファイルを順番に再生する
1 DISC SHUF（デッキA）SHUF（デッキB）（16ページ）	選んだディスクの全曲をランダムに再生する
ALBUM SHUF（デッキAのみ）（16ページ）	選んだアルバムの全MP3ファイルをランダムに再生する
プログラム再生（17ページ）	プログラムした曲順に再生する

1曲だけを繰り返す（1曲リピート）

繰り返したい曲の再生中に、REPEATボタンを繰り返し押して「REP 1」を点灯させる。
1曲リピートが始まります。

繰り返し再生する（リピート再生）

リピート再生を止めるには

■ボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには

REPEATボタンを繰り返し押して、「REP」および「REP 1」を消す。

ご注意

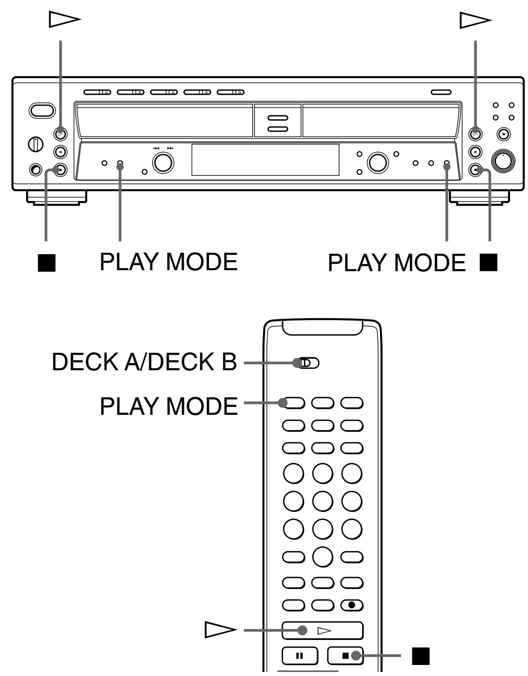
- 全曲リピートの場合は、5回繰り返すと停止します。
- デッキAで「ALL DISCS SHUF」（このページ）を選んでいるときは、全曲リピート再生はできません。
- 本体の電源を切ると、リピート再生は解除されます。

ディスクを再生する

ランダムに再生する（シャッフル再生）

順不同に全曲を1回ずつ再生します。

リモコンで操作する場合は、DECK A/DECK BスイッチをDECK AにするとデッキA、DECK BにするとデッキBを操作することができます。



1 **停止中に、PLAY MODEボタンを繰り返し押して、再生の方法を選ぶ。**

ALL DISCS SHUF（デッキA）	全ディスクの全曲をランダムに再生する
1 DISC SHUF（デッキA）	選ばれているディスクの全曲をランダムに再生する
SHUF（デッキB）	全曲をランダムに再生する
ALBUM SHUF*（デッキA）	選ばれているアルバムの全MP3ファイルをランダムに再生する

* MP3ファイルを含むディスクの場合のみ、「ALBUM SHUF」を選ぶことができます。

2 **▷ボタンを押す。**

が表示され、曲番をシャッフルしたあと自動的に再生が始まります。

全曲を1回ずつ再生し終わると停止します。

シャッフル再生を止めるには

■ボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには

停止中にPLAY MODEボタンを繰り返し押して、「SHUF」を消す。

シャッフル再生/一時停止中に次に再生する曲を頭出しできます

表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを左に回す（リモコンでは⏮ボタンを押す）と再生中の曲の頭に戻ります。表示窓のALBUM SELECT表示が消えているときにAMSつまみを右に回す（リモコンでは⏭ボタンを押す）と次に再生する曲を頭出しします。すでに再生が終わった曲には戻りません。

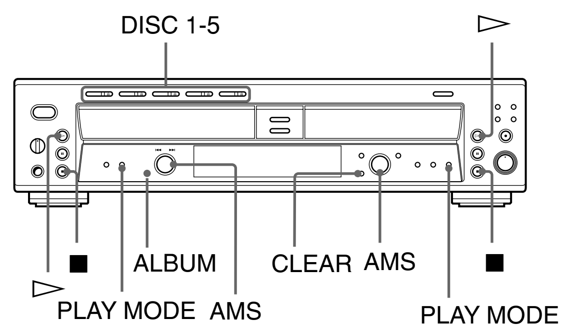
ご注意

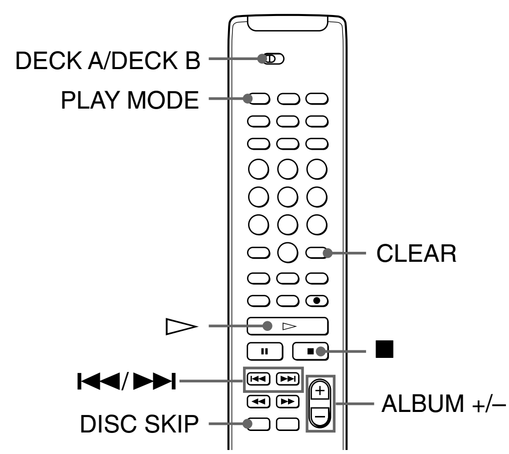
- 「REP」に設定しているときにデッキAで「ALL DISCS SHUF」を選ぶと、「REP」は解除されます。
- 再生中はPLAY MODEの設定を変更することはできません。
- 本機の電源を切ると、再生モードの設定は解除されます。

聞きたい曲を好きな順番で再生する（プログラム再生）

聞きたい曲およびMP3ファイルをプログラムして再生できます。プログラムには25曲まで登録できます。

リモコンで操作する場合は、DECK A/DECK BスイッチをDECK AにするとデッキA、DECK BにするとデッキBを操作することができます。





1 **停止中に、PLAY MODEボタンを繰り返し押して、「PGM」を点灯させる。**

2 **デッキAでは、DISC1〜5ボタンを押して、ディスクを選ぶ。（リモコンではDISC SKIPボタンを押す。）**

3 **AMSつまみを回して（またはリモコンの⏮/⏭を押して）曲を選び、AMSつまみを押す（またはPLAY MODEを押す）。**
MP3ファイルをプログラムするには、ALBUMボタンを繰り返し押してALBUM SELECT表示を点灯させてから、AMSつまみを回してアルバムを選びます（またはリモコンのALBUM +/–ボタンを押す）。
次に、ALBUMボタンを繰り返し押してALBUM SELECT表示を消してから、AMSつまみを回して（またはリモコンの⏮/⏭を押して）曲を選び、AMSつまみを押します（またはPLAY MODEを押す）。

4 **手順3（デッキAでは手順2と3）を繰り返して、聞きたい曲をすべてプログラムする。**

5 **▷ボタンを押す。**
プログラムした順に再生が始まります。

選んだディスクあるいはアルバムのすべての曲目をプログラムするには（デッキAのみ）

手順3で最初の曲番を表示させたあと、AMSつまみを左に回して（リモコンでは⏮ボタンを押して）「AL」を選びます。（MP3ファイルを含んだディスクの場合は、ディスク内の全曲を一度に選ぶことはできません。）

プログラム再生を止めるには

■ボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには

PLAY MODEボタンを繰り返し押して、「PGM」を消す。

最後にプログラムした曲を消すには

CLEARボタンを押す（デッキAの場合はリモコンのCLEARを押す）。
押すたびに、プログラムした最後の曲から消えます。

リモコンの数字ボタンで曲番を選ぶことができます

手順3で⏮/⏭ボタンのかわりに数字ボタンで曲番を選びます。

再生が終わっても、プログラムは残っています

▷ボタンを押すと、プログラムの最初から再び再生します。再生を途中で止めても、プログラムは消えません。

プログラムした曲の総数を確認できます

停止中にTIMEボタンを押します。

ご注意

- デッキAとデッキB両方にまたがってプログラムすることはできません。
- すでに25曲プログラムされていて、さらに曲を追加しようとすると「Step Full!」が表示されます。いくつか曲を消してからプログラムしてください。
- 本機の電源を切るとプログラムは消えます。
- プログラムの合計時間が99分59秒を越えると「--.--」と表示されます。
- 再生中はPLAY MODEを変更することはできません。
- MP3ファイルをプログラムした場合は、「--：--」と表示されます。（プログラムにMP3ファイルが含まれている時は、合計時間は表示されません。）

録音/編集する

この章では、さまざまな録音や編集のしかたを説明しています。
録音の前に必ずお読みください。

録音の前に

録音可能なディスクについて

- 録音可能なディスクは下記のロゴが添付されたオーディオCD-RおよびCD-RWです。
- オーディオCD-Rは、一度だけ録音することができます。オーディオCD-RWは、何度でも録音することができます。詳しくは6ページをご参照ください。

ファイナライズについて

- ファイナライズとは、録音を終了したCD-RまたはCD-RWを一般のCDプレーヤーで再生できるようにする最終処理です。
- CD-Rの場合、一度ファイナライズされると録音内容を追加することはできません。CD-RWの場合、ファイナライズ後も録音を追加したり、消去することができます（28ページ）。
- ファイナライズされていないディスクは、デッキBのみで再生することができます（6ページ）。

シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）について

- 本機はシリアルコピーマネージメントシステムに準拠しています。シリアルコピーマネージメントシステムとは、デジタル録音をする場合、一世代のみデジタル録音を可能にするものです。
- デジタル録音されたCD-RまたはCD-RWからデジタル録音することはできません。この場合、アナログ録音してください。詳しくは24ページをご参照ください。

録音についてのご注意

- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲のあとから録音されます。
- 録音をする前に、CD-RまたはCD-RWの録音可能な残り時間が録音したいディスクの再生時間よりも長いことを確認してください。特にディスク全体を録音するときはご注意ください。
- メッセージが表示された場合は「メッセージ表示一覧」（34ページ）をご覧ください。
- 録音一時停止状態が約3分間続くと、録音は自動的に停止します。

コピー防止機能について

市販のCDの中にはコピー禁止情報が含まれているものがあります。その場合は「Cannot Copy」と「C12」または「C41」が交互に表示されます。

次のときは、本機を動かしたり、POWERスイッチをオフにしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりして電源を切らないでください。正しく録音されないことがあります。

- 「Finalize」、「Unfinalize」、「Erase」または「OPC」表示中：TOCデータを更新しています。
- 「PMA Writing」表示中：トラック情報などを更新しています。

録音の種類

音源に基づき、次のような録音形式が可能です。それぞれの詳細については各ページをご参照ください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>自動ファイナライズ</th><th>追加録音</th><th>CDテキストコピー</th><th>録音レベル</th></tr>
<tr><td colspan="6">デッキAから録音する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メイクディスクシンクロ録音*1
(Make Disc On)
選んだディスクをそのままオリジナルの曲順で全曲録音します。</td><td>高速シンクロ録音*2 (22ページ)
高速で録音します。
録音時に音は聞けません。</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="4">オリジナルディスクと同じ</td></tr>
<tr><td>等速シンクロ録音 (23ページ)
音を聞きながら通常の速度で録音します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シンクロ録音
(Make Disc Off)
1枚または複数のディスクから録音します。プログラム順にも録音できます。</td><td>高速シンクロ録音*2</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td>等速シンクロ録音</td></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアル録音 (24ページ)
録音する曲を手動で選んだり編集しながら録音します。</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>メニュー操作で調節</td></tr>
<tr><td colspan="6">DIGITAL OPTICAL IN端子に接続した機器から録音する</td></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアル録音 (24ページ)</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>メニュー操作で調節</td></tr>
<tr><td colspan="6">ANALOG IN端子に接続した機器から録音する</td></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアル録音 (24ページ)</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>REC LEVELつまみで調節</td></tr>
</table>

*1 あらかじめセットアップメニューの「Make Disc」を「On」にしてください（33ページ）。何も録音されていないディスク（ブランクディスク）を使用します。

*2 高速シンクロ録音を選んでも、次のような場合には自動的に等速シンクロ録音へ切り換わります。
— シリアルコピーマネージメントシステム情報を含むディスクのとき
— デッキＡの再生モードが「PGM」（プログラム再生）のとき
— デッキＡ内のディスクがMP3ファイルを含むとき

ちょっと一言

- 録音したCD-RまたはCD-RWをデッキAや他のプレーヤーで聞くにはファイナライズをしてください。（27ページ）
- デッキAのディスクから好きな曲だけを録音するときは、プログラムしてください（23ページ）。
- 複数のディスクから録音するときは22ページをご覧ください。
- ANALOG IN端子に接続した機器からの録音中、曲番が正しく付かないときは26ページをご覧ください。

MP3ファイルの録音について

- MP3ファイルはオーディオCD形式に変換して記録されます。そのため、大幅にデータ量が増え、1枚のディスクに記録しきれないことがあります。
- 本機はMP3ファイルを著作権情報を含むデータとして扱うため、以下のような制約があります。
  - **等速シンクロ録音でのみ録音できます。**マニュアル録音はできません。
  - デジタル信号はアナログ信号に変換されてから録音されます。直接デジタルで録音することはできません。
  - 録音レベルの調節はできません。
- 1曲の最低時間は4秒必要です。そのため、シンクロ録音したディスクの曲数ともとのディスクの曲数が異なる場合があります。
- デッキAからデッキBに録音するときは、再生時間と録音時間の表示が異なる場合がありますが、録音への影響はありません。

サンプリングレートコンバーターについて

本機に入力されるデジタル信号を44.1 kHzのサンプリング周波数に変換します。したがって、サンプリング周波数の違うDATや衛星デジタル放送（32 kHzまたは48 kHz）の音をデジタル録音できます。

CD-RまたはCD-RWに録音する（シンクロ録音）

ワンタッチでデッキAのディスクをCD-RまたはCD-RWにデジタル録音できます。「録音の前に」（19ページ）を必ずお読みください。シンクロ録音のしかたには以下の2通りあります。それぞれで高速または等速録音ができます。（MP3ファイルは等速録音のみ可能です。）

メイクディスクシンクロ録音（Make Disc On）

選んだ再生モードにかかわらず、オリジナルの曲順で録音し、ファイナライズまで行います。必ず何も入っていないディスク（ブランクディスク）を使ってください。（デッキBにディスクを入れたときに「Blank Disc」と表示されます。）

- メイクディスクシンクロ録音を行う場合は、セットアップメニューの「Make Disc」を「On」にします（33ページ）。
- CDテキスト対応の場合、CDテキストの内容を自動で書き込みます。ディスク名は70文字まで、または、1枚のディスクに1曲70文字まで40曲分の文字が書き込めます。

ご注意

- デッキAがプログラムモードのときは、セットアップメニューの設定にかかわらずメイクディスクシンクロ録音は取り消されます。
- ファイナライズしているときは、途中で止められません。

シンクロ録音（Make Disc Off）

録音したいディスクや再生モードを選んで録音できます。
録音したディスクはファイナライズが必要です。正しくファイナライズされないと、そのディスクは他のCDプレーヤーで再生することができません。ファイナライズについて詳しくは「CD-RまたはCD-RWをファイナライズする」（27ページ）をご覧ください。

- このシンクロ録音を行う場合は、セットアップメニューの「Make Disc」は「Off」（初期値）です。
- CDテキストの内容は自動で書き込みません。曲やディスクに名前をつけるときは、「曲名やディスク名を付ける」（29ページ）をご覧ください。

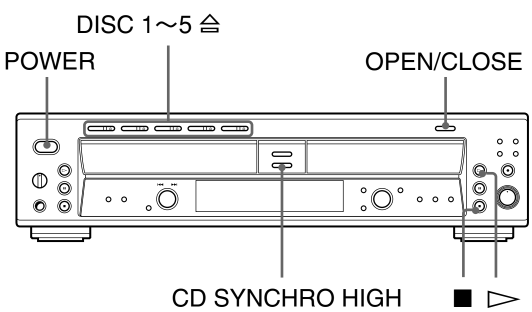
メイクディスクシンクロ録音・シンクロ録音のご注意

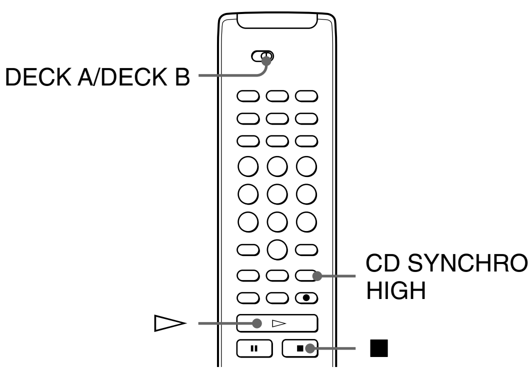
- 録音中は一時停止できません。
- リピート再生やシャッフル再生が選ばれていても、自動的に取り消されます。
- 録音中は次の機能は働きません。
  - サイレントポーズ機能
  - レベルシンクロ機能
  - トラックマーキング機能
  - フェードイン／フェードアウト録音
  - 録音レベルの調節（録音レベルは、オリジナルのディスクと同じになります）
- 録音中はセットアップメニューの設定にかかわらずダイレクト録音機能が働きます（31ページ）。
- シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によって規制されたディスクを録音する場合は、自動的にアナログ録音になります。高速録音は等速録音に切り換わります。シリアルコピーマネージメントシステムについての詳細は19ページをご覧ください。
- コピー禁止情報が含まれる市販のCDを録音する場合は、自動的にアナログ録音になります。高速録音は等速録音に切り換わります。
- SBM機能はアナログ録音にのみ働きます（31ページ）。

高速シンクロ録音

高速でCDからCD-RおよびCD-RWに録音ができます。録音中の音声は聞こえません。
メイクディスクシンクロ録音を行う場合は、セットアップメニューの「Make Disc」を「On」にしておいてください（33ページ）。

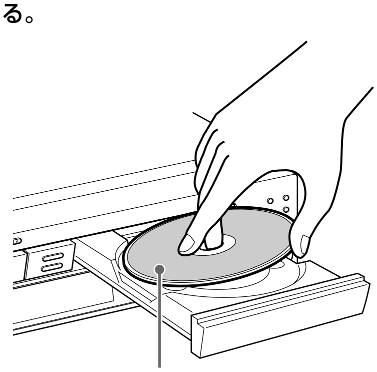
リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK BスイッチをDECK Bにします。





1 **本機のPOWERスイッチを押して電源を入れる。**

2 **デッキBのOPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、録音可能なCD-RまたはCD-RWを置く。もう一度OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**



「TOC Reading」が表示されます。本機がディスクのTOCデータを読み込みディスクの種類を表示します。

3 **デッキAのDISC1～5 ≙ボタンを押してディスクトレイを開け、録音したいCDを置く。もう一度≙ボタンを押してディスクトレイを閉める。**

4 **CD SYNCHRO HIGHボタンを押す。**
デッキBは録音待機状態に、デッキAは一時停止状態になります。
本機が良好な録音をするために「OPC」が表示されることがあります。
「Not Blank」と表示されたら、何も入っていないディスクを入れ直してください。

5 **「New Track」と表示されてから、デッキBの▷ボタンを押す。**
高速シンクロ録音が始まります。録音が終わるとデッキA、デッキBともに停止します。

高速シンクロ録音を止めるには

■ボタンを押す。

ご注意

- MP3ファイルを含むディスクをシンクロ録音するときは、自動的に等速シンクロ録音になります。
- プログラム再生をシンクロ録音する場合は、自動的に等速シンクロ録音になります。プログラムした順に録音するときには、「好きな曲だけを録音するには」（23ページ）をご覧ください。
- 1枚のCDから録音したいときに「ALL DISCS」が選ばれているときは、複数のディスクから録音されることがあります。

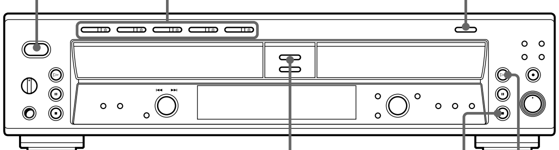
複数のディスクから録音するには

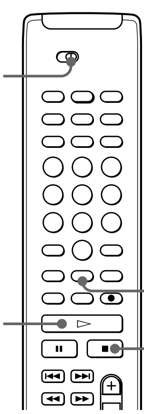
シンクロ録音（Make Disc Off）でおこないます。
手順3で再生モードを「ALL DISCS」に設定し、手順4にすすみます。その場合、DISC 1～5ボタンが緑色に点灯しているディスクから順に録音されます。DISC 5のあとにはDISC 1から録音されます。（等速シンクロ録音もできます。）

等速シンクロ録音

通常の速さで録音します。音声を聞きながら録音できます。メイクディスクシンクロ録音を行う場合は、セットアップメニューの「Make Disc」を「On」にしておいてください（33ページ）。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。





1 22ページの手順1～3を行う。

2 **CD SYNCHRO NORMALボタンを押す。**
デッキBは録音待機状態に、デッキAは一時停止状態になります。

3 **「New Track」と表示されてから、デッキBの▷ボタンを押す。**
等速シンクロ録音が始まります。録音が終わるとデッキA、デッキBともに停止します。

等速シンクロ録音を止めるには

■ボタンを押す。

ご注意

1枚のディスクから録音したいときに「ALL DISCS」が選ばれているときは、複数のディスクから録音されることがあります。

好きな曲だけを録音するには

プログラム再生機能をつかって、好きな曲を選んでから等速シンクロ録音することもできます。手順1と2のあいだで、「聞きたい曲を好きな順番で再生する（プログラム再生）」（17ページ）の手順1～4の操作を行います。

ご注意

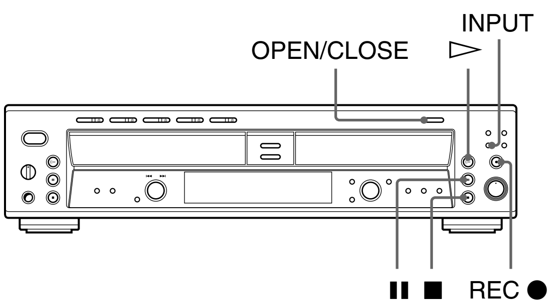
プログラム再生が選ばれている時は、セットアップメニューの設定にかかわらず、メイクディスクシンクロ録音はできません。

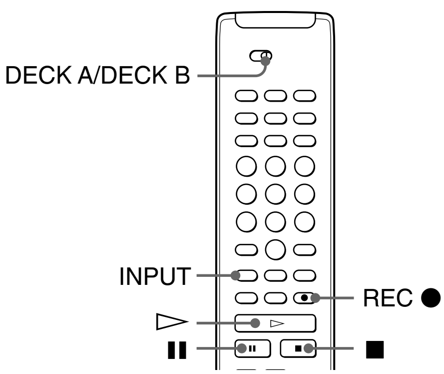
マニュアルで録音する

録音済みの曲のあとから録音することができます。
「録音の前に」（19ページ）を必ずお読みください。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。

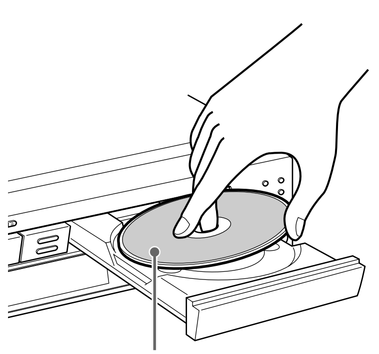
- 録音したディスクはファイナライズが必要です。正しくファイナライズされていないと、そのディスクは他のCDプレーヤーで再生することができません。ファイナライズについての詳細は「CD-RまたはCD-RWをファイナライズする」（27ページ）をご覧ください。





1 **録音したい音源とアンプの電源を入れ、アンプでその音源を選ぶ。**

2 **デッキBのOPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、録音可能なCD-RまたはCD-RWを置く。もう一度OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**



文字の書いてある面を上に

3 **INPUTボタンを繰り返し押して、録音したい音源を選ぶ。**

音源が接続されている端子	点灯させる表示
DIGITAL OPTICAL IN	OPT*
ANALOG IN	ANALOG*

* デッキAが再生中の場合は、再生を止めてください。

デッキAのディスクをマニュアル録音するときは「OPT」と「ANALOG」表示を消します。

4 **REC●ボタンを押す。**
デッキBは録音待機状態になります。

5 **必要に応じて、録音レベルを調節する。**
「録音レベルを調節する」（25ページ）をご覧ください。

6 **▷ボタンを押す。**

7 **録音したい音源の再生を始める。**

録音を一時停止するには

❚❚ボタンを押す。録音を再び始めるには、もう一度❚❚ボタンを押すか、▷ボタンを押します。

ご注意

録音を一時停止するたびに、曲番が増えます。録音を一時停止すると曲番が1つ増え、再び録音を始めると、新しく追加された曲番から録音されます。

録音を止めるには

■ボタンを押す。「PMA Writing」が表示され、ディスク情報を更新してから録音が止まります。

録音したあと最初から再生するには

1 停止中にもう1回■ボタンを押す。

2 ▷ボタンを押す。
最初の曲から再生します。

ご注意

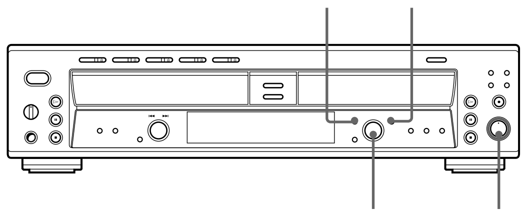
- 録音中にREC●ボタンを押すと、曲番がそこでひとつ増えます（26 ページ）。1 曲は最低4秒必要です。
- マニュアル録音で複数のディスクを録音する場合、トラック間の無音部分が長くなることがあります。複数のディスクから録音する際は、シンクロ録音をお使いください。
- 本機はシリアルコピーマネージメントシステムに準拠しています。シリアルコピーマネージメントシステムとは、デジタル録音をする場合、一世代のみデジタル録音を可能にするものです。そのため、ディスクの内容によっては、DIGITAL OPTICAL IN端子に接続した機器からCD-RまたはCD-RWにデジタル録音できない場合があります。
- シリアルコピーマネージメントシステムの規制により、デジタル録音ができないことがあります。その際、他の機器と接続して録音するときはANALOG IN端子を通してアナログ録音をしてください。また、デッキAから録音するときはシンクロ録音で録音してください。（自動的にアナログ録音になります。）
- MP3ファイルはマニュアル録音できません。
- 「OPT」または「ANALOG」を選んで録音しているときは、デッキAでのディスク再生はできません。

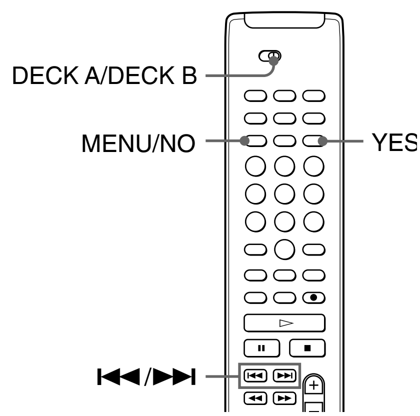
録音レベルを調節する

デジタル録音の録音レベルを調節する

セットアップメニューを使って、デジタル録音の録音レベルを調節することができます。（詳しくは、33ページの「セットアップメニューの使いかた」をご覧ください。）

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。





1 「マニュアルで録音する」（24ページ）の手順1〜4を行って、録音待機状態にする。

2 録音したい音源の一番大きい音の（再生レベルが一番高い）部分を再生する。

3 MENU/NOボタンを押す。

4 AMSつまみを回して録音したい音源を選ぶ。（リモコンでは⏮/⏭ボタンを押す。）

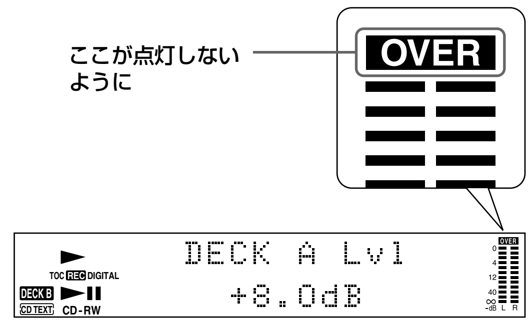
録音したい音源	選ぶ表示
デッキA	DECK A Lvl
DIGITAL OPTICAL IN端子に接続した音源	Optical Lvl

5 AMSつまみ（またはYESボタン）を押す。

6 AMSつまみを回して録音レベルを調節し、AMSつまみを押す。（リモコンでは⏮/⏭ボタンを押して調節し、YESボタンを押す。）

ピークレベルメーターの「OVER」表示が点灯しないように調整します。

録音レベルは、−∞dBから+18dBの範囲で調節できます。



7 MENU/NOボタンを押す。

8 音源の再生を止める。

9 録音を始めるには、「マニュアルで録音する」（24ページ）の手順6と7を行う。

ご注意

デジタル録音の録音レベルを調整しても、デジタルオプチカル出力のレベルは変わりません。

アナログ録音の録音レベルを調節する

本体のREC LEVELつまみを回して、録音レベルを調節します。「OVER」表示が点灯しないように録音レベルを調節してください。

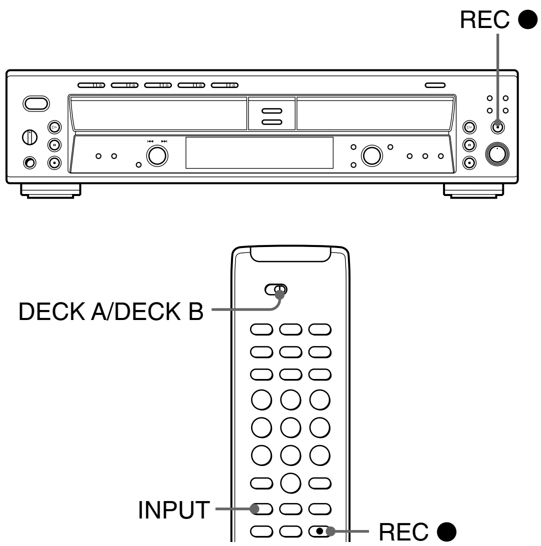
ご注意

録音レベルの調整は録音中もできます。デッキBの再生中にはできません。

録音中に曲番を付ける

録音中に曲番を付けるには、自分で付ける方法と自動で付ける方法の2通りあります。曲番を付けておくと、再生時の頭出しをするときや、編集するときなどに便利です。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK BスイッチをDECK Bにします。



自分で付ける

録音中いつでも曲番を付けることができます。

録音中に、好きなところでREC●ボタンを押す。

ご注意

- シンクロ録音中はつけることはできません。
- 1曲は最低4秒必要です。

自動で付ける（トラックマーキング機能）

下記の方法で自動的に曲番がつきます。

シンクロ録音（21ページ）をしているとき

曲番は本機のCDプレーヤーからのコントロールのもとで自動で付きます。

デッキAまたは、DIGITAL OPTICAL IN端子につないだCDまたはMDから録音しているとき（INPUTボタンで「OPT」を選んでいるとき）

曲番は音源に含まれる情報に基づいて自動的に付きます。ただし、一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーでは曲番が自動で付かない場合があります。

それ以外のとき

セットアップメニューの「Track Mark」が「LSync」に設定されている場合、録音したい音源の入力信号が約1.5秒以上一定のレベル*以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくると、曲番が自動的に付きます（レベルシンクロ機能）。

* お買い上げ時の設定は、–50dBです。

トラックマーキング機能を切るには

停止中にセットアップメニューの「Track Mark」を「Off」にします。詳しくは「セットアップメニューの使いかた」（33ページ）をご覧ください。

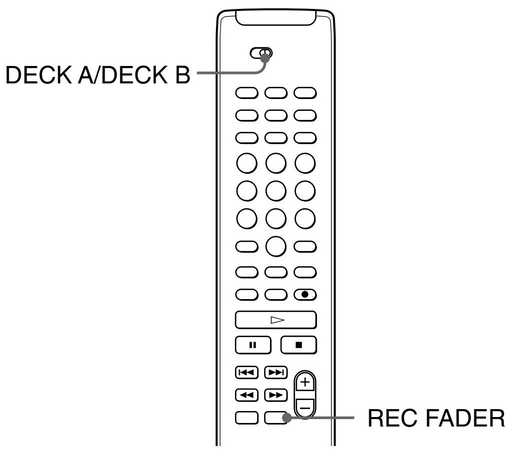
トラックマーキングの基準になる入力信号のレベルを変えるには（レベルシンクロ機能）

停止中にセットアップメニューの「LSync Lvl」を選び、–72dB〜–20dBの範囲で設定します。詳しくは「セットアップメニューの使いかた」（33ページ）をご覧ください。

フェードイン/フェードアウト録音する

マニュアル録音するときに、音量を徐々に大きくして録音を始めたり（フェードイン録音）、徐々に小さくして録音を終えたり（フェードアウト録音）することができます。曲の途中で録音を始めたり、終えたりするときに便利です。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチを DECK Bにします。



ご注意

- フェード時間は5秒間です。変えることはできません。
- フェードイン/フェードアウト録音をしても、デジタルオプチカル出力のレベルは変わりません。
- シンクロ録音中はできません。

フェードインで録音を始める（フェードイン録音）

録音一時停止中に、フェードインを始めたいところでREC FADERボタンを押す。
「Fade In」が点滅し、録音を始めます。

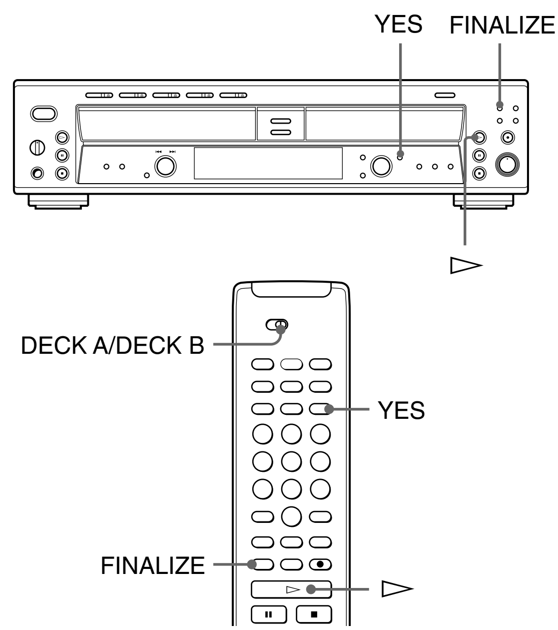
フェードアウトで録音を終える（フェードアウト録音）

録音中に、フェードアウトを始めたいところで、REC FADERボタンを押す。
「Fade Out」が点滅し、フェードアウトします。フェードアウトが終わると自動的に録音一時停止になります。

CD-RまたはCD-RWをファイナライズする

ファイナライズとは、録音を終了したCD-RまたはCD-RWをデッキAや一般のCDプレーヤーで再生できるようにする最終処理です（CD-RWを再生する場合はCD-RW対応のCDプレーヤーが必要です）。録音を終えたら、CD-RおよびCD-RWをファイナライズする必要があります。
CD-Rの場合、一度ファイナライズされると録音内容を追加することはできません。
CD-RWの場合、ファイナライズ後もファイナライズを解除（28ページ）することによって、録音を追加したり、消去することができます。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチを DECK Bにします。



1 **デッキBにファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れる。**
「TOC」が点灯していることを確認してください。
「TOC」が消えているときは、ファイナライズされているディスクです。

2 **停止中に、FINALIZEボタンを押す。**
ファイナライズ待機状態になります。

3 **▷ボタン（またはYESボタン）を押す。**
ファイナライズが始まります。ファイナライズ中は「Finalize」が表示され、ファイナライズの残り時間（目安）が表示されます。ファイナライズが終了すると、全曲数と全再生時間が表示され「TOC」表示（赤色）が消えます。

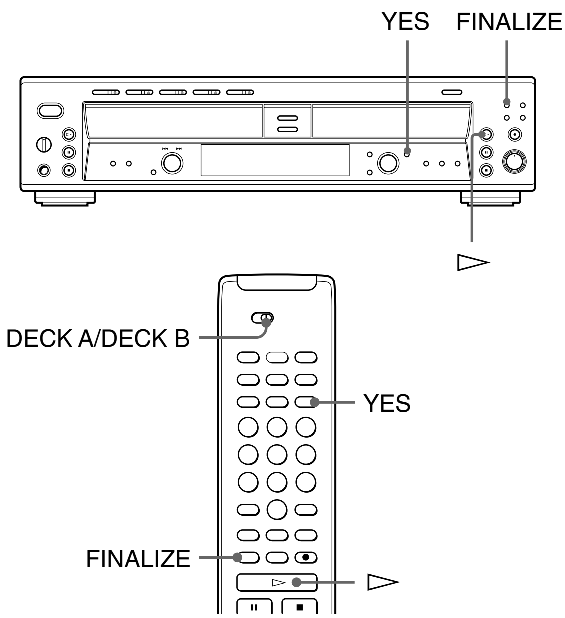
ご注意

- ファイナライズは途中で中止することができません。
- ファイナライズ中は、本機の電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。ディスクに正しく記録されず、録音した内容が再生できなくなります。
- ファイナライズされていないディスクは本機のデッキBでのみ再生できます。
- デッキAが再生中は、ファイナライズできません。

CD-RWのファイナライズを解除する（アンファイナライズ）

CD-RWは、ファイナライズ後も録音を追加したり曲を消去することができます。それにはCD-RWのファイナライズを解除することが必要です。ファイナライズを解除することをアンファイナライズといいます。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。



1 **デッキBにファイナライズされているCD-RWを入れる。**
「TOC」が点灯していないことを確認してください。
「TOC」が点灯するときは、ファイナライズされていないディスクです。

2 **停止中に、FINALIZEボタンを押す。**
アンファイナライズ待機状態になります。

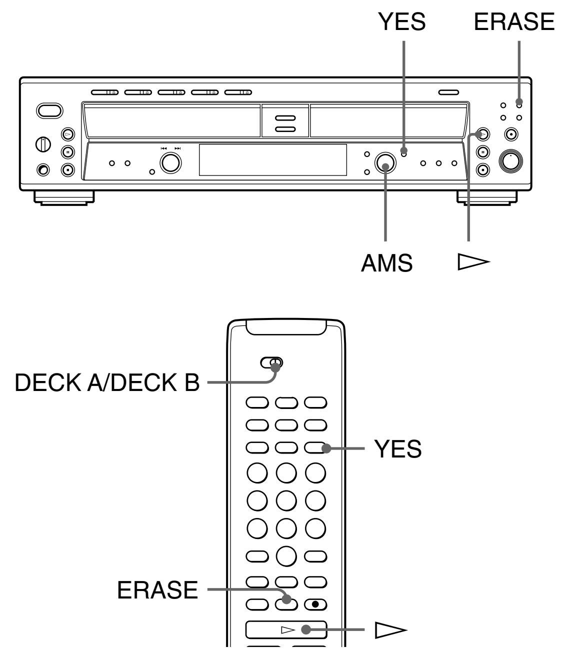
3 **▷ボタン（またはYESボタン）を押す。**
アンファイナライズが始まります。アンファイナライズ中は「Unfinalize」が表示され、アンファイナライズの残り時間（目安）が表示されます。アンファイナライズが終了すると、全曲数と全再生時間が表示され「TOC」表示（赤色）が点灯します。

ご注意
- アンファイナライズは途中で中止することができません。
- アンファイナライズ中は、本機の電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
- アンファイナライズ前にCD-TEXT情報が登録されていた場合は、ディスクトレイを開けたとき、および電源をオフにしたときに情報が消去されます。
- デッキAが再生中は、アンファイナライズできません。

CD-RWの曲を消す（イレース）

CD-RWの曲を消すことができます。CD-RWに最後に録音された曲から消すことができます。
曲を消す前に、CD-RWがファイナライズされていないことを確認してください。ファイナライズされている場合は、「CD-RWのファイナライズを解除する」にしたがって、CD-RWをアンファイナライズしてください。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。



1 **デッキBにファイナライズされていないCD-RWを入れる。**
「TOC」が点灯していることを確認してください。
「TOC」が消えているときは、ファイナライズされているディスクです。

2 **停止中に、ERASEボタンを押す。**
「Tr Erase?」が表示されます。

3 **YESボタンを押す。**
最後の曲が選ばれます。
最後の曲だけ消すときは、手順5に進みます。

4 **AMSつまみを回して、消したい部分の最初の曲を選ぶ。（リモコンではI◀◀/▶▶Iボタンを押して選ぶ。）**

5 **▷ボタン（またはYESボタン）を押す。**
イレースが始まります。イレース中は「Tr Erase」が表示され、イレースの残り時間（目安）が表示されます。イレースが終了すると、残りの全曲数と全再生時間が表示されます。

全ての曲を消すときは

1 デッキBにファイナライズされていないCD-RWを入れる。

2 停止中にERASEボタンを繰り返し押して「Disc Erase?」を選ぶ。

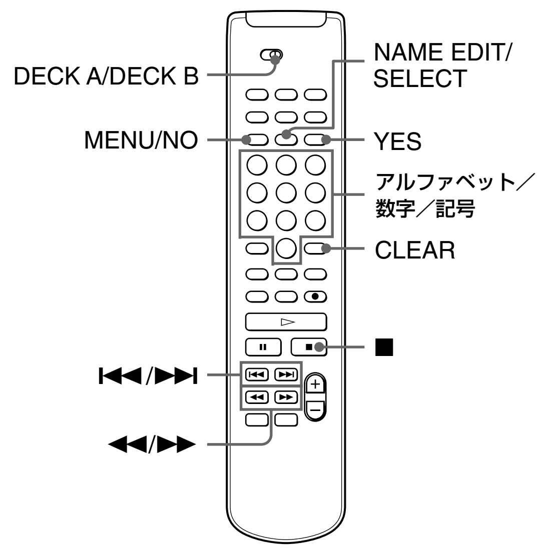
3 ▷ボタン（またはYESボタン）を押す。
イレースが始まります。イレース中は「DiscErase」が表示され、イレースの残り時間（目安）が表示されます。イレースが終わると、「Blank Disc」が表示されます。

ご注意
- イレースは途中で中止することができません。
- 最後の曲からのみ消去できます。（途中の曲を消すことはできません。）
- イレース中は、本機の電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
- デッキAが再生中は、イレースできません。

曲名やディスク名を付ける

CD-RまたはCD-RWに、アルファベットの大文字や小文字、数字、記号を使って、曲名やディスク名 を付けることができます。ディスク名は70文字まで、また、1枚のディスクに、1曲70文字まで40曲分の文字を入力できます。
必ずファイナライズする前に、曲名やディスク名を付けてください。ファイナライズしたあとのディスクには付けることができません。
曲名やディスク名を付けた後、必ずファイナライズしてください（27ページ）。ファイナライズしないで、電源を切ったりディスクを取り出すと、曲名やディスク名は消えます。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。



1 デッキBにファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れる。

2 停止中に、NAME EDIT/SELECTボタンを押す。
「Name In?」と表示されます。

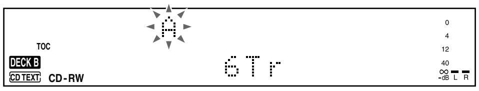
3 YESボタンを押す。

4 ⏮/⏭ボタンを押して、タイトルを付けたいディスクや曲を選ぶ。
ディスクにタイトルをつけるときは「Disc」を、曲にタイトルをつけるときは曲番を表示させます。

5 YESボタンを押す。
カーソルが表示されます。



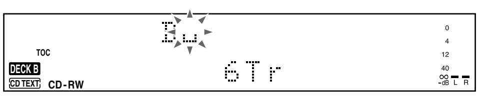
6 NAME EDIT/SELECTボタンを繰り返し押して、文字の種類を選ぶ。



文字の種類	表示させる文字
大文字アルファベット記号*	Selected AB
小文字アルファベット記号*	Selected ab
数字	Selected 12

＊ 表示できる記号：' – / , . ( ) : ! ? & + < > _ = " ; # $ % @ ∗ `
1文字分空けるときは10/0ボタンを押します。

7 希望の文字のアルファベット/数字/記号ボタンを押す。



数字を選んだとき
押したボタンの数字が表示されます。

アルファベットを選んだとき

1 希望の文字があるボタン（ABC、DEFなど）を繰り返し押して、希望の文字や記号を表示させる。

⏮または⏭ボタンを繰り返し押しても、文字を切り換えることができます。

記号を選ぶときは「'」を点滅させたあと、⏭ボタンを繰り返し押します。

2 ▶▶ボタンを押す。

8 手順6と7を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するには
◀◀または▶▶ボタンを使って間違えた文字を点滅させます。CLEARボタンを押してから、手順6と7を繰り返します。

9 YESボタンを押す。
「Complete !」が数秒間表示され、消えると曲名やディスク名が付きます。
曲名やディスク名を付けたあと、ディスクを取り出したり電源を切る前に、必ずファイナライズしてください。ファイナライズしないと曲名やディスク名は消えます。

曲名やディスク名を付けるのを途中でやめるには
MENU/NOまたは■ボタンを押します。

曲名やディスク名を変更する

1 変更したい曲名やディスク名を表示させる。
「曲名やディスク名をつける」（29ページ）の手順1～5を行います。

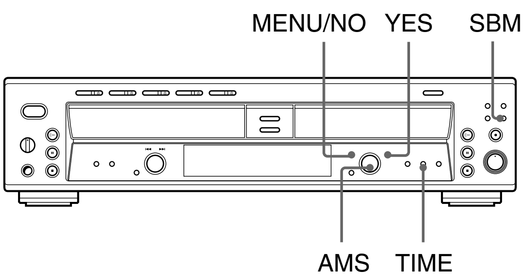
3 消すタイトルの文字がすべて消えるまで、CLEARボタンを押す。

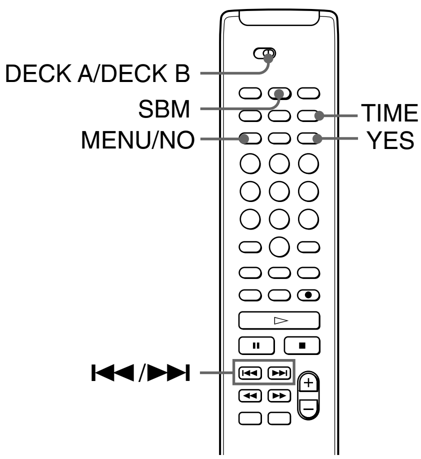
4 曲名やディスク名を付け直す。
「曲名やディスク名を付ける」の手順6～8を行います。

5 YESボタンを押す。
「Complete !」が数秒間表示され、消えると曲名やディスク名が付きます。

録音するときに便利な機能

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ
をDECK Bにします。





CD-RまたはCD-RWの残り時間を調べる

TIMEボタンを押す。

停止中：押すたびに全再生時間 ⟷ 残り時間と表示が切り換わります（12ページ）。

録音中：押すたびに曲の録音時間 ⟷ 残り時間と表示が切り換わります（13ページ）。

Silent Pause（サイレントポーズ）機能を使う

録音中約30秒の無音部分が続くと、本機は録音一時停止状態になります。
サイレントポーズ機能による録音一時停止状態が約3分間続くと、録音は自動的に停止します。
デッキAからシンクロ録音しているときは、サイレントポーズ機能は働きません。

サイレントポーズ機能をやめることができます

詳しくは「セットアップメニューの使いかた」（33ページ）をご覧ください。

曲の終わりに自動で無音部分を入れる
（ポストギャップ付加機能）

曲をつなぎながら録音するとき、曲の終わりに2秒の無音部分を入れることができます。次のときに無音部分が入ります。

- 録音中に録音が停止したとき
- シンクロ録音で、デッキAのディスクが次のディスクに移ったとき

ポストギャップ付加機能を使うには

停止中にセットアップメニューの「Post Gap」を「On」にします。詳しくは「セットアップメニューの使いかた」（33ページ）をご覧ください。

SBM（スーパービットマッピング）機能を使う

アナログ録音時（つまり外部アナログ入力録音時、またはMP3ファイルをシンクロ録音時）にSBM機能を使うと、量子化ビット数24ビットのきめ細やかな音質を、劣化させることなく16ビットに変換して録音できます。これは、本機に搭載している24ビットのA/Dコンバーターのノイズシェーピングフィルターに、人間の聴音特性を考慮した周波数特性を持たせることにより、実現しています。

SBMボタンを押す。

ボタンのインジケーターが点灯します。
もう一度ボタンを押すと、インジケーターが消灯し設定がオフになります。

ご注意

- 録音中にSBM機能の設定を変えることはできません。
- デジタル録音時（つまり外部デジタル入力録音時、またはデッキAからの録音時）は、SBM機能は自動的にオフになります。

プログラムソースの音をそのまま録音する
（ダイレクト録音）

サンプリング周波数が44.1kHzのデジタル信号を録音するときに、本機内部のサンプリングレートコンバーターを通さず、そのままの音で録音できます。セットアップメニューの「Direct」を「On」にします。「セットアップメニューの使いかた」（33ページ）をご覧ください。

ご注意

- サンプリング周波数が44.1 kHz以外のデジタル信号を録音するときは、「Direct」で「On」を選んでいても、自動的に本機内部のサンプリングレートコンバーターを通して録音します。
- 録音レベルはセットアップメニューで設定されたレベルになります。
- シンクロ録音中は、セットアップメニューの設定にかかわらずダイレクト録音機能が働きます。

その他の情報

この章では、本機をご使用になる上での参考として役立つ情報を説明しています。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に手を触れないように持ちます。



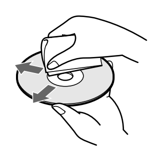
- 紙やシールを貼らないでください。
- 中古/レンタルCDなどでシールやのりが付着しているディスクは使用しないでください。

保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふきます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

使用するディスクについて

次のようなディスクを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。

－シールなどが貼られているディスク
－円形以外の形をしている（ハート形など）ディスク
－レーベルの印刷が一方向にかたよっているディスク
－傷がついているディスク
－古いディスク
－汚れているディスク
－反っているディスク

高速シンクロ録音について

ディスクの状態によって、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。その場合は上記の「お手入れのしかた」にしたがってディスクをきれいにして、通常の速さのシンクロ録音をしてください。

CD-R/CD-RWの再生について

表面の傷やよごれ、録音状態、また録音機の相性などの理由でうまく再生されないことがあります。

ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは、一般のCDプレーヤーでは再生できません。また、CD-RWは、CD-RW対応のCDプレーヤーでのみ再生することができます。

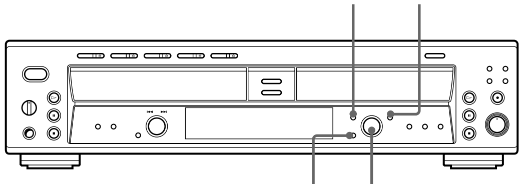
CD再生時のご注意

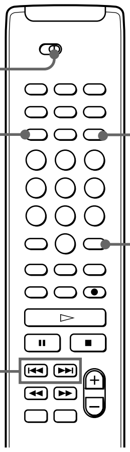
本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

セットアップメニューの使いかた

セットアップメニューを使って、さまざまな設定ができます。

リモコンで操作をする場合は、DECK A/DECK Bスイッチ をDECK Bにします。





1 MENU/NOボタンを押す。

2 AMSつまみを回して設定したい項目を選び、AMSつまみを押す。（リモコンでは|◀◀/▶▶|ボタンを押して選び、YESボタンを押す。）

3 AMSつまみを回して設定し、AMSつまみを押す。（リモコンでは|◀◀/▶▶|ボタンを押して選び、YESボタンを押す。）

4 MENU/NOボタンを押す。

設定値を初期値に戻すには

手順2の後、CLEARボタンを押します。

ご注意

- 停止中、再生中、録音中によって、設定できるメニューは変わります。
- 本機の電源を切っても、設定値は記憶されて残ります。

メニュー項目

設定項目	はたらき（参照ページ）	設定値（初期値）
Make Disc	高速シンクロ録音または等速シンクロ録音するときに、メイクディスクシンクロ録音を行なうかを設定する（21ページ）	On/Off（Off）
DECK A Lvl	デッキAの入力レベルを調節する（25ページ）	– ∞dB～18dB（0.0dB）
Optical Lvl	DIGITAL OPTICAL IN端子からの入力レベルを調節する（25ページ）	– ∞dB～18dB（0.0dB）
Track Mark	トラックマーキング機能を設定する（26ページ）	LSync/Off（LSync）
LSync Lvl	トラックマーキングの基準レベルを設定する（26ページ）	–72dB～–20dB、2dB単位（–50dB）
Silent Pause	サイレントポーズ機能を設定する（31ページ）	On/Off（On）
Direct	ダイレクト録音機能を設定する（31ページ）	On/Off（Off）
Post Gap	ポストギャップの付加機能を設定する（31ページ）	On/Off（Off）

メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりのCD-R/CD-RW、または全曲を消したCD-RWが入っている。
Check Disc	ファイナライズされたディスク、またはCDに録音/編集をしようとした。CD-Rを編集しようとした。
Complete!	編集が正しく完了した。
Data Disc	オーディオ用でないCD-R/CD-RWに対して録音、編集をしようとした。 ➡ オーディオ用のCD-R/CD-RWを入れる。
Disc Full!	CD-R/CD-RWの残り時間がない、または録音可能なトラックがないため録音できない。
Erase	ERASE（削除機能）が働いている。
Ex-Change	デッキAの再生中にディスクの出し入れをした。
Fade In	FADE IN RECが働いている。
Fade Out	FADE OUT RECが働いている。
Finalize	FINALIZEが働いている。
Incomplete!	本体の振動やディスクの傷、汚れなどにより、正しく編集できなかった。
Initialize	セットアップメニューの設定などを本機が記憶していない、または前回使ったときの再生状態などを本機が記憶していない。
Name Full!	曲名またはディスク名の文字数が上限になった。
— NO DISC —	ディスクが入っていない。
No Name	タイトルが入っていない。
Not Blank	メイクディスクシンクロ録音のときにブランクディスクが入っていない。 ➡ メイクディスクシンクロ録音ではブランクディスクを使う。
OPC	OPC: Optimum Power Control ディスクに最適な書き込みをするための処理をしている。
OPC Over	OPCの書き込み数が90回を越えた。 ➡ 録音を止め、ファイナライズをする。
— Over —	最後の曲の終わりまで進んでいる。 ➡ AMSつまみを左へ回す（リモコンでは⏮ボタン、または◀◀ボタンを押す。）
PMA Writing	PMA: Program Memory Area ディスクの情報を更新している。
Push STOP!	停止状態でないときに操作された。 ➡ 停止してから操作をする。
— Retry —	録音または編集をやり直している。
Step Full!	プログラムした曲の数が上限になり、これ以上プログラムできない。 ➡ 新しくプログラムするときは、これまでのプログラムを消してからプログラムし直す。
TEXT Edited	曲名やディスク名の編集後にファイナライズされていない状態で、OPEN/CLOSEボタンが押された。 ➡ ファイナライズをしてからOPEN/CLOSEボタンを押してディスクを取り出す。どうしてもディスクを取り出したい場合は、表示中にもう一度OPEN/CLOSEボタンを押す。
TOC Reading	TOC: Table Of Contents ディスクの情報を読み取っている。
Unfinalize	UNFINALIZEが働いている。

自己診断表示機能

本機には自己診断表示機能がついています。これは、本機が正しく動作していないとき、表示窓に3桁の表示とメッセージを表示してお知らせする機能です。
表示によって、本機の状態が分かるようになっています。以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。
2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談下さい。

表示番号/メッセージ	意味
C12/ Cannot Copy	CD-ROM、ビデオCDなどデッキAや外部機器で再生できないフォーマットのディスクを録音しようとしている。 ➡ ディスクを取り出し、音楽用のCDを入れて再生する。
C13/ Rec Error	振動などのため、正しく録音できなかった。 ➡ 振動のない場所に本機を設置し直し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。 ➡ ディスクを交換して、録音をやり直す。
C14/ TOC Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➡ 他のディスクを入れてみる。
C41/ Cannot Copy	録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。またはCD-R/CD-RWをデジタル録音しようとしている。 ➡ シリアルコピーマネージメントシステムの制約により、デッキAから市販の音楽ソフトやMP3ファイルを録音できない。また、CD-R/CD-RWはデジタル録音できない。 ➡ 他の機器と接続して録音するときはANALOG IN端子を通してアナログ録音をする。また、デッキAから録音するときはシンクロ録音で録音する。（自動的にアナログ録音になります。）
C71/ Din Unlock	一瞬表示して消えるときは、録音中のデジタル信号によるものです。録音内容に影響はありません。
	デジタル音源からの録音中に、接続ケーブルが抜けた、または音源の電源が切れた。 ➡ ケーブルをつなぐ、またはデジタル機器の電源を入れる。

システム上の制約

「TOC Reading」が長時間表示されている場合

ディスクに関わらず、デッキAよりもデッキBの方が、表示される時間が長くなります。CD-R/CD-RWの記録ができるため、さまざまな情報を読み込んだり、最適な状態になるように調整しているためです。

途中まで録音したディスクに録音する場合の制約

- 正しい残り時間が表示されない場合があります。
- 全体の録音可能時間にくらべて、録音可能残り時間が短くなることがあります。
- 1枚のディスクにつき99曲まで録音することができます。

ご注意

本機の電源を入れたときにノイズが入ることがありますが、故障ではありません。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

デッキA部（CDプレーヤー部）

再生が始まらない。
- ➡ ディスクが入っていない。
- ➡ ディスクがななめに入っている。ディスクを置きなおす。
- ➡ ディスクが汚れている（32ページ）。
- ➡ ディスクを裏返しに入れている。文字の書いてある面を上にしてディスクトレイにディスクを置く。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約1時間放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める（2ページ）。
- ➡ POWERスイッチを押して電源をオンにする。

デッキA部（MP3再生）

MP3ファイルが再生できない。
- ➡ デッキBではMP3ファイルは再生できません。
- ➡ ISO9660レベル1、レベル2、Juliet、Romeoに準拠して記録されていない。準拠しているディスクを使用する。
- ➡ MP3ファイルに拡張子が付いていない。記録した機器で拡張子「.MP3」を付ける。
- ➡ MP3形式で保存されていない。

MP3ファイルを再生するときにが時間がかかる。
- ➡ 複雑な階層構造を持っているディスク、マルチセッションにて録音されたディスク、データが追加されたディスク（ファイナライズされていないディスク）は再生開始に時間がかかる。

デッキB部（CD-R/RWレコーダー部）

本機をうまく操作できない。
- ➡ CD-R/CD-RWディスクが損傷している。他のCD-R/CD-RWディスクを入れる。

再生が始まらない。
- ➡ ディスクを裏返しに入れている。文字の書いてある面を上にしてディスクトレイにディスクを置く。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で数時間放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める（2ページ）。
- ➡ POWERスイッチを押して電源をオンにする。
- ➡ 録音されていないディスクが入っている。
- ➡ MP3ファイルを再生しようとしている。（デッキAでのみ再生できます。）

録音が始まらない。
- ➡ ファイナライズされたディスクが入っている。アンファイナライズする（CD-RWのみ）（28ページ）。
- ➡ 接続を確かめる（5ページ）。
- ➡ INPUTボタンで正しい入力先を選ぶ（24ページ）。
- ➡ 録音レベルを適正にする（25ページ）。
- ➡ 録音中に電源コードが抜けたりして、その部分だけ録音されていない。

再生が止まったりする。
- ➡ 強力な磁気を発生するもの（テレビなど）の近くに本機が置いてある。離して設置する。

その他

音が出ない。
- ➡ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- ➡ アンプを正しく操作していない。
- ➡ ヘッドホンを使用するときは、PHONE LEVELの音量を調節する。

リモコンで操作できない。
- ➡ リモコンと本体との間に障害物がある。
- ➡ 本体のリモコン受光部 ▣ に向けて操作していない。
- ➡ リモコンの乾電池を交換する。

電源を入れると、ディスクの種類の判別や調整のため、プレーヤー内からカタカタと音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：RCD-W500C
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

デッキA（CDプレーヤー部）

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
レーザー	セミコンダクターレーザー（λ=780 nm）
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
周波数特性	20Hz～20kHz（±0.5dB）
S/N比	再生中98dB以上
ワウフラッター	測定限界（±0.001% W. PEAK）以下*

デッキB（CD-R/CD-RWレコーダー部）

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
レーザー	セミコンダクターレーザー（λ=780 nm）
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RWディスク
録音可能ディスク	CD-R、CD-RWディスク（オーディオ用）
周波数特性	20Hz～20kHz（±0.5dB）
S/N比	再生中98dB以上
ワウフラッター	測定限界（±0.001% W. PEAK）以下*

＊ JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

入力端子

端子名	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル	最小入力レベル
アナログ入力	ピンジャック	47kΩ	500 mVrms	250 mVrms
デジタルオプチカル入力	角形光コネクタージャック	（発光波長 660nm）		

出力端子

端子名	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
アナログ出力	ピンジャック	2Vrms	10kΩ以上
デジタルオプチカル出力	角形光コネクタージャック	–18dBm	（発光波長 660nm）
PHONES	ステレオ標準ジャック	12 mW（可変最大）	32 Ω

電源・その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	22W
最大外形寸法	430×108×399mm（幅／高さ／奥行、最大突起部含む）
質量	約 6.8kg

付属品

4ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「306」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4246076O3(2)

Sony Corporation　Printed in Malaysia